

がん患者家族語らいの会 講演のご案内

1. 開催日時：2026(令和8)年 2月14日(土)
第一部 14時～15時 講演
第二部 15時～16時半 語り合い
2. 開催場所：第一伝道会館2階 伽羅
3. ご講師：井上城治 氏（證大寺住職）
4. 講題：「真宗寺院のグリーフケア 父から託された手紙」
5. 参加費：500円（ビハーラ会員は無料）

【證大寺略歴】

證大寺は、続命院という承和2年（西暦835年）に開かれた看取り施設を由来としています。

承和年間、九州一帯では飢饉や疫病がたびたび発生し、太宰府は国防の要地であったことから、遠く関東・東北の地より多くの防人が派遣されていました。しかし過酷な環境と流行病により、故郷に帰ることも叶わずこの地で命を落とす者が後を絶ちませんでした。

その悲しみに応えるため、承和二年（835年）、太宰府に七棟の施設が開かれて僧侶が管理し、薬剤師・医師の象徴として薬師如来、看護士の象徴として觀世音菩薩、ご本尊として阿弥陀如来が安置され、現代の医療にも通じる「治療・看護・看取り」の三つの慈悲が示されていました。とりわけ、遠い異郷で故郷へ帰ることなく亡くなつていかれた防人たちにとって、「浄土という心の故郷が必ずある」という阿弥陀如来の教えは、深い慰めと安らぎをもたらしました。

その後、疫病の収束とともに続命院は證大寺と名を改め、先人が伝えた「魂のふるさととしての浄土を確かめていただける場所としての役割を果たしています。

【講演の内容】

続命院の願いと、證大寺としての真宗寺院に託された看取りの願いに向けてお話しさせていただきます。

また、癌などの重い病気に罹った方と家族のグリーフケアとしての手紙の役割についても触れることができれば幸いです。

【ご参加について】

申し込みは不要です。ご参加を希望される方は、直接会場までいらしてください。

講演の問い合わせ先：東京ビハーラ 平日14時～17時 TEL03-5565-3418
〒104-8435 東京都中央区築地3-15-1 築地本願寺内

例会の講師講演はZoomオンラインで同時開催しています。

会員の方は無料でご案内をいたします。

ご希望の方は東京ビハーラまでメールでお問い合わせください。

メール：tokyovihara@outlook.jp（東京ビハーラ事務局）